

フラットパネルディスプレイの 人間工学シンポジウム2012

- 主催：ディスプレイデバイス事業委員会 人間工学専門委員会
- 担当部署：コンシューマ・プロダクツ部
- 参加者数：約100名

概要

お陰様をもちまして、フラットパネルディスプレイ（以下、FPD）の人間工学シンポジウムは2001年から毎年開催し、今年で12回目となりました。

今回のシンポジウムでは、電子ペーパーディスプレイやフレキシブルディスプレイの技術動向を紹介しました。さらに、動画像／3D表示に関する視覚特性・安全性及び快適性や色の視覚特性を様々な切り口で講演頂き好評を頂きました。そして、今後のディスプレイの未来像について、今後の日本FPD産業復活への提唱として具体的かつタイムリーな話題について講演がありました。

特に「薄型テレビの人間工学設計ガイドライン」の講演については、多数の受講者より大変多くのご好評の声を頂き、約100名の方々からご出席を賜り、盛会のうちに終了いたしました。本シンポジウムは、一般社団法人日本人間工学会からも協賛を頂き、以下のようなプログラムで進められました。

2013年3月にも本シンポジウムの開催を予定しております。皆様の奮ってのご参加をお待ち申し上げます。



プログラム

○はじめに PJ挨拶 人間工学専門委員会

【セッション1】電子ペーパー/フレキシブルディスプレイの技術動向 座長：中枝 氏（ソニー）

○フレキシブルディスプレイの技術動向と標準化動向

芝原嘉彦 氏（富士フイルム）

○電子ペーパーディスプレイの技術動向と標準化動向

高橋達見 氏（大日本印刷）

【セッション2】動画像/3D表示の視覚特性、安全性、快適性 座長：富沢 氏（シャープ）

○3Dディスプレイの国際標準化とはどういうことか

加藤千昭 氏（日立製作所）

○3Dディスプレイの将来像2012

小池崇文 氏（日立製作所）

○動画性能 – 実力評価手法の確立

川原 功 氏（川原テクノコンサルティング）

○Bartenコントラスト感度関数モデルの空間速度拡張

佐々木尚 氏（東芝）

【セッション3】色の視覚特性 座長：今井 氏（東芝）

○4原色LEDバックライトを用いた広色域LCD

佐野雄磨 氏（東芝）

○人間工学：アクセシブルデザイン：青年、老年層に対して推奨されるカラーコンビネーション及びその適用事例と国際標準化

伊藤納奈 氏（産総研）

○色のコントラスト感度特性に基づく電子ディスプレイの色ムラ評価指標の提言

浅野敏郎 氏（広島工業大学 教授）

○プロジェクションディスプレイにおける色画素ずらしによる見た目の解像度向上

堀内隆彦 氏（千葉大学 准教授）

○CIEとAICの最新動向

阿山みよし 氏（宇都宮大学 教授）

【特別講演】 座長：久武 氏（東芝モバイルディスプレイ）

○フルHDから4K×2Kへ。画質の究め方

麻倉怜士 氏（津田塾大学）

○薄型テレビの人間工学設計ガイドライン

窪田 悟 氏（成蹊大学 教授）

○おわりに DD事業委員会挨拶 井上委員長